

あ ら お



みんなで築く
「心配なし あらお」

11月号もくじ

- P.2 【募集】
歳末たすけあい事業では地域で取り組まれる団体を募集します!
【特集】
生活支援コーディネーターをご存じですか?
【連載】
荒尾市社会福祉協議会のご紹介
- P.3 【寄付のお礼】
香典返し寄付
ブルタブなどのご寄付
フードバンク事業
当会のホームページからの寄付の受付について
- P.4 【福祉かわらばん】

社協だより

令和5年度赤い羽根共同募金運動が
始まりました!

令和5年

11月

No.232



今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まりました。赤い羽根共同募金は「自分の町を良くするしくみ」として災害支援やボランティア活動などの福祉活動に役立てられています。今年度も皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。写真は10月1日(日)にゆめタウンシティモールで行った街頭募金活動の様子です。



Shinpainashi

【発行者】社会福祉法人荒尾市社会福祉協議会

〒864-0011 熊本県荒尾市下井手193番地1

TEL 0968-66-2993 FAX 0968-66-2994

Eメール araoshisyakyo@crux.ocn.ne.jp

荒尾市社協

HP <http://arao-shakyo.com/>





歳末たすけあい事業では地域で取り組まれる団体を募集します!



荒尾市社協では今年度も歳末たすけあい事業として、歳末に行われる地域活動の支援を行います。次の取り組みが対象となりますので、地域のみなさまのご応募をお待ちしています。

①地域活動特別助成事業

- 内容 ささえあい活動などの地域活動において歳末にちなんだ地域の交流行事を実施する団体に材料費を助成します。
- 対象団体 ささえあい活動などの地域活動に取り組む団体
- 助成団体数 25団体(申込みが25団体を越えた場合は助成額を調整します)
- 助成額 1団体15,000円まで
※今年度は餅つきなどの会食を含む事業を対象とします。

②生活支援特別助成事業

- 内容 ささえあい活動などの地域活動において歳末に高齢者等の生活支援事業に取り組まれる団体に対し、事業の実施に必要な材料費等の経費を助成します。
- 対象団体 ささえあい活動など地域活動に取り組む団体
- 助成団体数 10団体(申込みが10団体を越えた場合は助成額を調整します)
- 助成額 1団体あたり15,000円まで

③ひとり暮らし高齢者年賀状送付特別助成事業

- 内容 地域活動でひとり暮らし高齢者に年賀状を送付する事業を実施されている団体に対し、年賀はがきを現物給付します。
- 対象団体 ささえあい活動などの地域活動に取り組む団体
- 助成団体数 20団体(申込みが20団体を越えた場合は助成枚数を調整します)
- 助成枚数 1団体あたり上限40枚まで

【申込み方法】

以下の日程で説明会を開催しますのでご参加下さい。その際に必要書類をお渡ししますので提出をお願いします。

- ・荒尾海陽中学校区の皆様⇒令和5年11月9日(木)午前10時～午前11時
- ・荒尾第三中学校区及び第四中学校区の皆様⇒令和5年11月9日(木)午後1時30分～午後2時30分

【応募条件】

- ①助成事業実施当日にのぼり旗と募金箱を設置し、募金活動に協力出来る荒尾市内の団体
- ②赤い羽根共同募金の配分を受けている趣旨を説明することが出来る荒尾市内の団体

【お問合せ】 荒尾市社会福祉協議会 地域福祉係
TEL 0968-66-2993 FAX 0968-66-2994



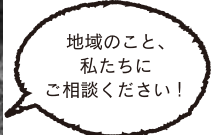
生活支援コーディネーターをご存じですか?

生活支援コーディネーターは、高齢者などが住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために、地域住民の相談を受けたり、地区座談会を開催するなどして、新たな取り組みの創出や様々な人・地域・社会資源などのマッチングを行う「地域のささえあいの推進役」です。

【生活支援コーディネーター 活動の様子】



荒尾市社協では、各中学校区に1名ずつの計3名の生活支援コーディネーターを配置して、地域課題の解決に当たっています。お住まいの地区で地域の困りごとがあれば気軽にご相談ください。



【お問合せ】 荒尾市社会福祉協議会 地域福祉係
TEL 0968-66-2993 FAX 0968-66-2994



荒尾市社会福祉協議会のご紹介



荒尾市社会福祉協議会は、昭和26年6月に荒尾市に誕生し、地域福祉の推進に取り組んできました。今号では管理課相談係の取り組みについてご紹介します!

主な活動のご紹介

- 総合相談事業** 専門職員が、様々な分野の相談支援を受け付け、必要に応じて関係機関と連携したり、地域住民のお宅を訪問するなどして支援を行います。
- フードバンク・フードドライブ事業** 地域住民や企業、他のフードバンク団体から不要となった食材をご寄付いただき、子ども食堂や生活困窮者に向けた食料支援を実施しています。
- 生活福祉資金・生活費貸付事業** 生活困窮者に資金を貸し付けるなどして生活再建を図ります。

管理課④相談係

相談係は、総合相談やフードバンク・フードドライブ事業、生活福祉資金の貸付などを実施して、地域住民のくらしの困りごと解決を目指しています。



場所：〒864-0011
荒尾市下井手193番地1
荒尾市総合福祉センター
TEL：0968-79-7018
FAX：0968-66-2994
E-mail：soudan@arao-shakyo.com

メールによる相談も随時受け付けています!

香典返し寄付のお礼

※香典返し寄付は、荒尾市社会福祉協議会と荒尾市福祉課にて受付けています。

次のとおり、金一封を社会福祉事業にお寄せいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のご冥福をお祈りします。

(受付順・敬称略)

8 月受付分

寄付者名	寄付者住所 (行政区)	続柄	物故者名	年齢
内田 類子	宮内	亡夫	内田 浩明	86
千葉 美保子	青葉	亡夫	千葉 茂	73
柴尾 朝雄	金屋	亡母	柴尾 スエヲ	97
猿渡 良子	菰屋北	亡夫	猿渡 信彦	60
草場 聖司	普源寺	亡母	草場 津美子	86
杉山 英男	月田	亡長男	杉山 純	50
町永 政孝	岱洋西	亡父	町永 政次	96
前田 利孝	水島	亡母	前田 利子	97
藤岡 久雄	貝塚	亡妹	林 愛子	86
宮浦 徳一	打越	亡妻	宮浦 アサ子	82
大林 美奈子	庄山	亡夫	大林 康	71
山本 キヨミ	打越	亡夫	山本 秀利	80
山口 明代	小路	亡叔母	山口 シス子	86
宮原 民子	揚増永	亡夫	宮原 忠明	82
竹内 勝行	中央区	亡母	竹内 房子	92
玉川 清好	昭和町	亡夫	玉川 進	88
浦部 賢司	四ツ山町一丁目	亡父	浦部 巖	94

9 月受付分

寄付者名	寄付者住所 (行政区)	続柄	物故者名	年齢
石本 瑞枝	金山上	亡夫	石本 昇	76
木下 カツエ	八幡台一丁目	亡夫	木下 富男	91
木村 繁	一紡	亡母	木村 スミコ	97
野中 大	日の出町	亡母	野中 ヒロ子	74
黒田 シヅカ	岱洋中	亡夫	黒田 喜一郎	94
小山 譲	高浜	亡母	小山 アヤ子	89
長谷川 ミツエ	金山上	亡夫	長谷川 實	94
河口 嘉孝	水島	亡母	河口 嘉子	92
長田 京子	岱洋東	亡夫	長田 裕治	69
山川 静子	宿	亡夫	山川 泰治	87
猿渡 陽子	平井城	亡夫	猿渡 敬志郎	78
井上 輝和	一紡	亡妻	井上 律子	85
前竹 輝夫	月田	亡母	前竹 笑子	84
西川 暢美	府本下	亡父	西川 正美	81
山下 妙子	打越	亡夫	山下 勝利	87
眞村 浅実	下赤田	亡夫	眞村 勇	64
平野 雅俊	助丸	亡母	平野 スエ子	102

プルタブなどのご寄付をいただきました

次の方からプルタブとペットボトルキャップを寄付いただきました。お預かりしたプルタブとペットボトルキャップは「ボランティアグループ陽気会」で車いす寄付事業などに活用されます。皆様の善意に厚くお礼申し上げます。

横尾 節子 様



フードバンク事業にご寄付いただきました

次の方からフードバンク事業に食料を寄付いただきました。皆様の善意に厚くお礼申し上げます。

フードバンクありあけ 様
ゆめタウンシティモール 様
いのちのオアシス フードバンク 様 (順不同)

※社協では引き続きご家庭や職場で不要となった食品の寄付をお願いしています。いただいた食材は子ども食堂や児童養護施設、生活困窮者に提供させていただきます。

[お問合せ] 荒尾市社会福祉協議会 地域福祉係
TEL 0968-66-2993 FAX 0968-66-2994

当会のホームページから寄付の受付ができるようになりました

荒尾市社会福祉協議会のホームページにクレジットカード及び銀行振込に対応した「寄付のバナー」を設置しました。バナーをクリックして手続きを行っていただきますと、クレジットカードや銀行振り込み決済を通じて寄付が受け付けられ、窓口での手続きが一切不要となります。これまで以上にどなたでも気軽に寄付が行えるようになりましたので、引き続き、皆様からの温かいご支援とご協力をよろしくお願いします。

なお、いただいた寄付は荒尾市社協が行う「市内学校への福祉教育」や「ボランティアの育成、ボランティアグループの活動支援」など地域福祉の推進に役立てられます。

ご報告

いきいきサロンの輪が広がっています
～桜山町二丁目サロン～

荒尾市内の各地区で取り組む「ささえあい活動」のメニューである「いきいきサロン」が広がりを見せています。いきいきサロンは、公民館などで地域住民が主体となって高齢者などが集うことのできる場(サロン)を作り、地域住民の交流を図る荒尾市社会福祉協議会の取り組みです。

9月17日(土)から新たに取り組みを開始した桜山町二丁目サロンでは参加者手作りの料理による「おしゃべりランチ会」を楽しみました。荒尾市社会福祉協議会では今後も地域のサロン活動を支援してまいります。



▲桜山町二丁目の皆さんでおいしいランチとおしゃべりを楽しみました。

ご報告

万田学童クラブにゲストティーチャーを派遣しました

8月18日(金)に万田学童クラブにゲストティーチャーを派遣して「竹とんぼ作り」を行いました。講師はシルバー人材センター芸芸班の中島智さん、亀浦満徳さんで、当日は万田学童クラブに通所する1年生から5年生の約50名の児童が竹とんぼ製作を楽しみました。参加した児童からは「先生が作った竹とんぼが学校の屋上まで飛んでびっくりした」、「初めて作った竹とんぼが高く飛んでうれしい」などの声が聞かれていました。

今後も荒尾市社協では、伝承遊びなどを通じて「地域住民と子どものつながり」を創出してまいります。



▲竹とんぼ名人の技術に興味津々の児童たち

ご報告

ゆめタウンシティモールにサンキューレター掲示版を設置しました！

ゆめタウンシティモールのフードドライブ回収ボックスコーナーに、食材の提供を受けたご本人や関係団体からのサンキューレター(感謝状)を掲載する掲示版を設置しました。サンキューレターには様々な言葉で寄付者への感謝が綴られており、大変心温まる内容となっています。掲示版は随時更新して、食材を寄付された方と食材を受け取られた方の懸け橋となるよう今後も取り組んでまいります。



▲ゆめタウンシティモールに設置したサンキューレターボード

ご報告

第2回あらお できるしこ座談会を開催しました

9月8日(金)に荒尾市立図書館 みんなのへやで「第2回あらお できるしこ座談会」を開催しました。この座談会では地域住民、民生委員児童委員、歯科医師会、高齢福祉団体、児童福祉団体、商業施設、商業団体、荒尾市、荒尾市社協などの参加メンバーが「できることをできるしこ」をキーワードにして荒尾市が抱える地域課題について話し合いました。

当日は9団体が出席し、「社会福祉法人オレンジヒル小岱」と「社会福祉法人慈愛園 シオン園」から地域との連携に関する実践発表を行った後、「担い手不足」、「移動販売」、「地域の過疎化」、「各団体ができる地域貢献」などの課題についてディスカッションを行いました。座談会を通じて、これまで接点がなかった団体同士の交流が生まれ、ともに地域課題を考える機会となりました。



▲各団体が取り組む地域との連携について実践発表を行いました。

